

船舶事故等調査報告書

平成21年10月29日
運輸安全委員会（海事専門部会）議決

事故等番号	2008広第60号	
事故等種類	運航阻害	
発生日時	平成20年8月29日 22時45分ごろ	
発生場所	愛媛県松山市菊間港西方沖 波妻ノ鼻灯台から真方位030° 3.0海里付近 (概位 北緯34° 02.6′ 東経132° 47.8′)	
事故等調査の経過	平成20年11月13日、本インシデントの調査を担当する主管調査官（広島事務所）ほか1人の地方事故調査官を指名した。 原因関係者から意見聴取を行った。	
事実情報		
船種船名、総トン数	旅客船 さんふらわあこがね、9,710トン	
船舶番号、船舶所有者等	133412、株式会社ダイヤモンドフェリー	
乗組員等に関する情報	機関長、二級海技士（機関）（機関限定）	
死傷者等	なし	
損傷	左舷主機B列5番シリンダのピストン及びシリンダライナ割損、吸排気弁曲損、接続棒ボルトのねじ損傷、バランスウェイトの欠損、架構ひび割れ	
事故等の経過	本船は、機関長ほか31人が乗り組み、旅客218人車両85台を載せて愛媛県松山港を出港し、同県今治港に向けて航行中、左舷主機B列5番のピストンが割れ、接続棒が振れまわって、主機が異音を発した。本船は、右舷主機で航行を続けた。	
気象	気象：天気 曇り、風向 西北西、風力 3 海象：潮汐 下げ潮の中央期	
分析	乗組員等の関与 船体・機関等の関与 気象・海象の関与 判明した事項の解析	なし あり なし ピストンクラウンと同スカートを締め付けるピストンボルト8本のうち2本のねじ底に、腐食によるき裂が生じていたところ、き裂が進展して同ボルトが折損し、他のボルトも過大な応力が加わって破断し、ピストンが上下に割れた可能性があると考えられる。 また、接続棒が振れまわった際に、小端部が架構とバランスウェイトに当たり、接続棒ボルトとナットのねじが損傷した可能性があると考えられる。
原因	本インシデントは、本船が菊間港西方沖を航行中、左舷主機のピストンボルトが、ねじ底の腐食部のき裂が進展して折損したため、接続棒が振れ回って架構を損傷し、同主機の運転が不能となったことにより発生した可能性があると考えられる。	